

# 議員定数見直しに関する深川市議会

## 意見交換会報告書

平成30年4月27日

深川市議会議長 長野 勉 様

深川市議会意見交換会実行委員会  
委員長 鶴岡 恵司

議員定数見直しに関する意見交換会の結果について、次のとおり報告します。

日 時	平成30年2月19日（月）10時00～11時30分
場 所	深川市役所 大会議室
テ ー マ	「議員定数見直しについて」

### 出席者

団 体 名	役 職 等	氏 名
深川市町内会連合会連絡協議会	会 長	遠藤 晃一
深川市町内会連合会連絡協議会	副会長	三浦 敦吉
深川市シルバークラブ連絡会	会 長	田中 昭光
深川市男女平等参画推進協議会	副会長	高田 恵子
きたそらち農業協同組合	代表理事組合長	柏木 孝文
深川市農村青年部協議会	副会長	長野 靖
深川市内 JA 女性部連絡協議会	会 長	谷口 博美
深川商工会議所	会 頭	富岡 正幸
一般社団法人深川青年会議所	理事長	阿部 みどり
連合北海道深川地区連合会	会 長	荒木 智子

深川市議会議員	長野 勉 議長ほか 14 名
---------	----------------



## — 市議会から挨拶・資料説明（※要旨のみ） —

### 鶴岡委員長 挨拶要旨

深川市議会では、平成28年3月に議会改革特別委員会を設置し、市民に開かれた議会を目指して議会報告会・意見交換会を開催している。さらに、本会議でのインターネット配信、議会だよりの充実に向けた検討も行っている。

そして昨年6月からは議員定数に関する協議・検討に入り、11月には名寄市・網走市・遠軽町に出向いて調査を行い、本年1月には人口減少に鑑み、議員定数を削減する方向を確認した。議員定数の削減数については、議会本来の役割である行政監視、政策立案、市民の多様な意見をくみ取り市政に反映させることが重要であるため、削減数は若干名にすべきと考えている。

本日の意見を参考に、今後、議会改革特別委員会で検討・協議を進めていきたい。



### 長野議長 挨拶要旨

本日の意見交換会は、議会改革を進め市民の皆さんに見える議会、より身近な議会となるべく行っている様々な取り組みの一環である。現議員の任期も残すところ1年4カ月となり、市民の皆さんから議員の定数について意見が寄せられている。

これまで深川市議会は3期毎に議員定数を見直してきた。

現在の議員定数（16名）で、3回の選挙を経ており、来年（平成31年）は改選の時期を迎えるが、その1年前には定数の協議を終えるのが妥当と考え、本年6月の第2回定例会を目途に定数の決定をしたい。

本日のテーマである定数の見直し、あるいは報酬や議員のあり方についても忌憚のないご意見をお願いしたい。



## 田中委員 資料説明要旨

1 ページは人口、議員数、議会費等について、道内の人口規模2万人前後の人口類似市10市及び、網走市、稚内市の2市を合わせて一覧にしたもの。深川市議会では総務文教、経済建設、社会民生の3つの常任委員会を設置しているが、議員定数の削減が行われた場合、現行の3常任委員会を2つにするなどの対応が必要である。本市の議会費は1億2,250万2,000円、交付税額算定上の収入額は5,500万円となっている。

2から3ページには、これまでの議員定数について、昭和38年に合併し30人の議員で第1回市議会議員選挙を行い、以降、54年の第5回で28人、第7回で26人、第9回で24人、第10回で20人、第12回で16人と、これまでの削減してきた議論経過などを記載している。

4ページは平成6年度以降の議員報酬、議員定数、人口の推移の一覧である。近年の人口減少は著しく、前回の議員定数を16人に削減することを可決した平成17年度の25,838人から、29年度には21,264人と4,500人余り減少している。

### — 出席者からの意見 —

#### 議員定数に関して

- ・定数削減の方向であることは理解できる。  
議員の数を少なくすることを必ずしも良しとはしないが、仮に減らすのであれば1人減ということもあり得るのではないか。  
本市の将来に向けた「人口推移の試算」を出していただきたい。
- ・現状の定数であっても妥当ではないかという印象を受ける一方で、若干の定数削減も妥当ではないかと考える。
- ・議員定数が減ると、議員一人当たりの負担がふえる。  
どのあたりがギリギリの定数なのか。
- ・人口が前回から4,500人減っているということでは、2人くらいの減が妥当と思う。  
各種の論点を検討した上で削減の方向で考えること。  
市民の意見を議会に上げて、より良い方向に向かうためにも一定の人数は必要である。
- ・今任期中に定数を見直さないと大変なことになりかねない。  
将来を見据えた上で削減を前提としての提案をしていただいたと受け止めている。
- ・他市との比較の場合は、人口の要素以外にも地域独自の課題があるのではないか。  
地域が抱える課題を先送りすることなく決断していただきたい。
- ・深川市の将来を考えると定数削減も必要と考える。
- ・どの市町村も少子高齢化が大きな問題であり、議員削減は仕方ないことであると考ええる。

### 委員会構成について

- ・二つの委員会になっても十分やれることが分かったが、考えが偏るところがないか心配である。

### 議員報酬について

- ・議員報酬を上げてでもしっかりと議員活動を行っていただきたい。
- ・一定程度の議員報酬がないことにはなり手がいない。
- ・どこの職場でも実力のある方を集めるためには一定程度の報酬がないとダメだと思う。
- ・議員のなり手を考えると、報酬を下げることに反対させてもらいたい。



### その他

- ・資質に欠ける議員が気になりであり、もっと議員の資質に関して課題とすべき。
- ・「深川の将来について」議員のみなさんがどう考えているか、意見を聞きたいと思う。
- ・市民の常識から外れている事案が多く、しっかりと議員の仕事として市民の声を市政に届ける議員を選んで欲しい。
- ・議員の資質が問われていると私も感じている。
- ・個々の議員が抱える負担がふえることから、議員の資質をどのように向上させるのが大切ではないか。
- ・これからの深川市をどのようにしていくのかという視点での、研鑽・研究に費やす時間を確保すべき。
- ・市議会議員としての資質を磨くシステムの構築あるいは担保をどうするのか、とても大切な問題である。
- ・今後の議会活動について、議員の皆さんがどのように考えているのかお聞きしたい。

## 「議員定数見直しに関する」意見交換会アンケート結果

アンケートの回答人数:参加9団体10名

◆設問1 開催について

良い9. 概ね良い1. どちらでもない0. あまりよくない0. 悪い0.

◆設問2 会場の配席について

良い6. 概ね良い2. どちらでもない2. あまりよくない0. 悪い0

◆設問3 参考資料の内容について

良い5. 概ね良い5. どちらでもない0. あまりよくない0. 悪い0

◆設問4 資料説明について

良い7. 概ね良い3. どちらでもない0. あまりよくない0. 悪い0

◆設問5 発言時間について

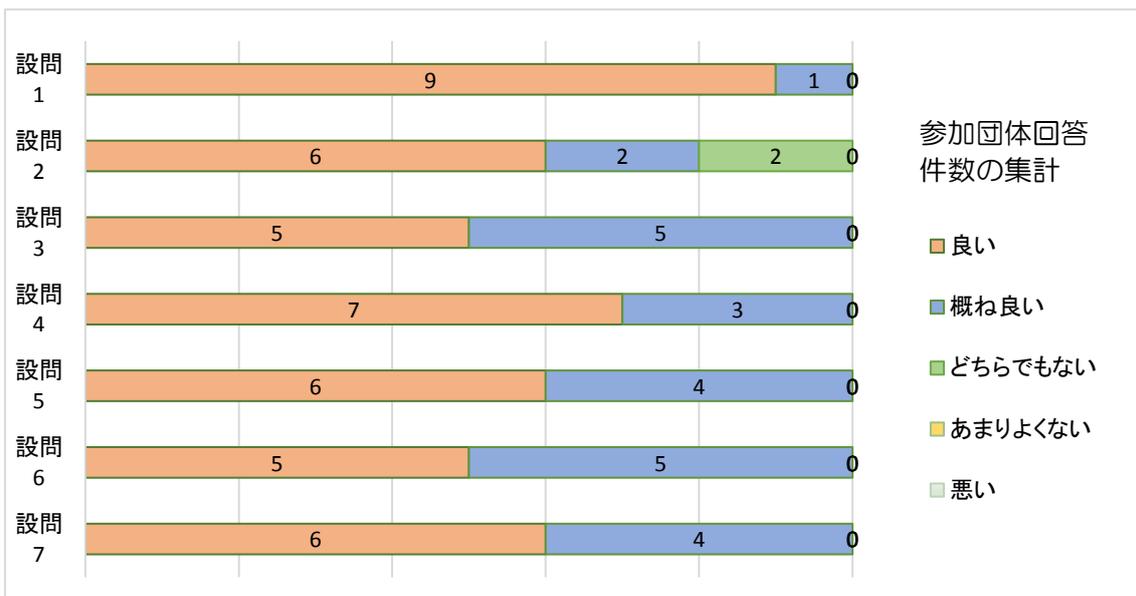
良い6. 概ね良い4. どちらでもない1. あまりよくない1. 悪い0

◆設問6 参集人数・団体数について

良い5. 概ね良い5. どちらでもない0. あまりよくない0. 悪い0

◆設問7 意見交換会の進行について

良い6. 概ね良い4. どちらでもない0. あまりよくない0. 悪い0



## 自由記入欄

- ◆設問8 本日のテーマに関連して、発言できなかったことがあればご記入ください。
  - ・最初は報酬を下げてでも議員定数を維持した方が良いと思っていましたが、社会保険などの知らないことがありましたので、考えを変えました。活動費を増やしてでも勉強して深川市を盛り上げるよう頑張ってもらいたいです。
  - ・議員定数に対する委員会構成の実態をもっと知りたい。
  - ・人口減で、議員定数の減は仕方がないのかと。
  
- ◆設問9 意見交換会全体で気が付いたことがあればご記入ください。
  - ・沢山の意見を聞くことができ参考になりました。
  - ・議員さん個人個人の意見を聞かせていただき良かった。
  
- ◆設問10 深川市議会(議員)の活動について日頃感じていることがあればご記入下さい。
  - ・市民の福祉向上に、精力的に取り組んでいる姿に敬意を表します。
  - ・日ごろより、活動に対して早めの対応に感謝します。
  - ・市民の声を広く聞いていただきたいと思います。
  - ・若い世代に議員になってみたいと思えるように活動の周知が必要。  
小学生・中学生・高校生などに対して、自分の生活の関わりあることが議会を通して決められているとか、身近な関わりを実感することが大切。
  - ・議員の視察について、市民への報告、行政反映をさせる場を何らかの形で設けてほしい。
  - ・建設的な意見を述べていただきたい。
  - ・問責決議案が多発する議会は正常ではないと思うので、しっかり対応していただきたい。
  - ・日ごろの活動が分かりづらいですが、議員だよりを充分読ませていただいています。